

オホーツク管内における ICT農業の現状と現地事例



平成30年1月

網走農業改良普及センター

発刊にあたって

北海道農業は、「担い手の減少」「農業者の高齢化」「労働力不足」という大きな課題に直面しています。オホーツク農業にとっても同様の課題を抱えており、個別経営体での面積規模は上限に近づいています。今後も大規模かつ高齢化するオホーツク農業にとって、持続的な農業を行っていくためには、ICT (Information and Communication Technology) を積極的に導入し、農作業の省力化・効率化を図る必要があります。

近年は、オホーツク管内でも、農業分野でのICT利用が増加しています。しかし、地域や農業者間の意識には温度差があり、普及センターにおいても、知識を十分備えていないのが現状です。そこで、網走農業改良普及センターでは、普及指導員が行う調査研究として位置づけられている「地域課題解決研修」において、平成28年度から「オホーツク管内におけるICTの現状把握と普及の役割の検討」に取り組んできました。これまで、研修会や事例調査、先進地視察などを通じ、資質向上を図りながら、今後の普及活動の展開方向について検討してきたところです。

本書は、2ヵ年の研修のまとめとして、オホーツク管内における耕種部門を中心としたICT導入の現状、経営への導入効果、先進的なICT導入事例等を記載していますので、今後、ICT機器の導入を検討している農業者の方々の一助として活用いただければ幸いです。

本書の作成にあたり、ご協力をいただきました関係各位に心より感謝を申し上げ、発刊の言葉といたします。

平成30年1月

北海道オホーツク総合振興局産業振興部
網走農業改良普及センター
所長 上舘 伸幸

目次

(ページ)

発刊にあたって

1	スマート農業の現状	……	1
2	ICTの特徴と使用事例		
(1)	GNSSガイダンスシステム・自動操舵補助装置	……	5
(2)	携帯型NDVIセンサ (GreenSeeker)	……	9
(3)	ドローン	……	11
(4)	可変施肥	……	15
3	オホーツク管内におけるICT導入事例	……	19
4	ICTに関する用語集	……	31
別紙1	GNSSガイダンスシステム等の導入経費	……	37
別紙2	ICTに関する試験研究成果	……	39
別紙3	研修等募集要項	……	42

各項に記載されているホームページのアドレスは平成30年1月現在のものです。